

2013年度事業報告

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■Feel Japan 年中行事を楽しむ会

日本の文化紹介プログラムを実施。留学生と日本の学生が知り合う一助になることも目的としているが、寮生活をしながら日本の伝統行事を知る機会を提供する。

6月23日 歌舞伎鑑賞@国立劇場 留学生・友愛学舎生・インターン生 計19名

7月7日 七夕祭り@高田馬場茶道会館 留学生・インターン生 計5名

11月9日 芋掘り@越生町 留学生・インターン生 計7名

11月30日 紅葉狩り@高尾山 留学生・インターン生 計12名

2014年1月26日 早稲田教会の子どもたちとお餅つき@早稲田奉仕園
留学生・ハンバット大学生・インターン生 計6名

3月5日 ひな祭り@早稲田奉仕園 留学生・インターン生・スタッフ 計6名

■国際理解講座 Global Understanding

月2回「平和」をテーマに様々な角度から国際理解を深めるための知識をディスカッション形式で学び、コーディネーターとして早大YMCAの石戸充氏が指導。

2012年度から沖縄の「復帰40年」にあたり基地問題をテーマに取り上げており、事前学習全4回を行った上で4月29日から5月3日まで現地でのフィールドワークを実施。米軍基地、沖縄戦の遺跡、米軍基地反対運動の現場等を巡り、沖縄の現状について理解を深めた。友愛4名、留学生9名の計13名が参加した。

■第3回韓国ハンバット大学校地域専門家養成研修プログラム

韓国ハンバット大学校日本語科の地域専門家養成プログラムとして「ホスピタリティ」が日本の社会・企業においてどのように実践されているかをテーマに訪日研修を受け入れた。

期間：2014年1月14日～26日の12泊13日

人数：韓国ハンバット大学校日本語科学生9名、教授1名

プログラム：企業訪問、日本の政治・在日外国人の状況等についての講義、文化体験、友愛
舎生との交流等

日程	午前		午後	
1/14	韓国・金浦 → 日本・羽田			
1/15	早稲田大学キャンパスツアー		早稲田奉仕園ビデオ紹介 (日本の学生との合同活動)～放射能から避難している方の活動を通して～	
1/16	講義「日本のサービスとその本質」	日本データビジョン株式会社 国際人材グループ 李 泰熙氏	「伝統を受け継ぎ革新を続ける」 ～新たなビジネスモデル～	株式会社 日比谷花壇
1/17	講義「日本の経営とは何か ～日本的な組織・しくみ～」	中央大学 講師 宣 元錫氏	「食を通じて人を幸せにすること」 ～真心と笑顔のサービス～	株式会社 モスフードサービス
1/18	自由時間		WAM(女たちの戦争と平和資料館)見学と説明	
1/19	顧客サービスとは(実践的体験を踏まえて)・・・関東近郊の施設訪問			
1/20	国際業務の仕組みとディーリングルーム見学	三菱東京UFJ銀行	日本の和菓子に込められた思い	和菓子司 栄光堂 片岡 義雄氏
1/21	講義「活躍し続ける人材の条件」	株式会社 リンクアンドモチベーション 前取締役 勝呂 彰氏	東京都庁見学	
1/22	日本・韓国の経済	早稲田大学国際教養学部教授 朴 相俊氏	自動車工場見学 ～HONDAが目指すもの～	本田技研工業株式会社埼玉工場
1/23	青丘社一ふれあい館見学 (在日大韓川崎教会 金 健牧師)「川崎での取り組み」			
1/24	講義「未来のために私たちができること」	NHK国際部記者 (早稲田奉仕園 友愛学舎OB) 松田 智樹氏	企業としてのミッション ～私たちが大切にしているもの～	株式会社 白洋舎
1/25	研修発表会・送迎会		自由時間	
1/26	日本・羽田 → 韓国・金浦			

■いのり☆フェスティバル＜主催：いのりフェスティバル実行委員会、協賛：早稲田奉仕園＞

キリスト教につながるあらゆる人々が教派や企業、学校の枠を超えて一堂に介するフリーマーケット型イベントをスコットホール及び中庭を会場として9月14日に開催。出展ブースは約30のほかミニライブや対談等もあり、来場者は300人以上であった。

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

日本に暮らす外国人に日本語を教え、生活上のサポートをおこなうとともに地域との交流をはかる日本語ボランティアの会は15年目を迎えた。毎年『日本語ボランティア養成講座』の修了生がボランティアの会の活動に多く加わっている。特別活動として課外授業、新年会、学習者発表会、講師研修会など随時行った。又、15周年記念事業として「こんにちは日本語」15周年記念号を発行した。

2013年度登録ボランティア数：63名

参加のべ人数：ボランティア2,505名、学習者3,800名

■あすなろ会

知的障がいがある子どもたちと遊ぶボランティア活動。

6月29日 プラネタリウム鑑賞@新宿コズミックセンター 参加者学生2名、子ども1名

9月14日 浅草、花やしき、スカイツリー見学 参加学生3名、留学生1名、子ども1名

■東日本大震災被災者支援・復興支援活動

①富士登山プロジェクト

7月26日から30日まで、岩手県大槌町浪板の子どもと保護者及び福島県から首都圏に避難している親子のグループ「つながろう！放射能から避難したママネット」の子どもと保護者計13名を招待し、奉仕園留学生・友愛舎生と共に富士登山を楽しんでいただいた。恵泉女学園大学の学生3名も東京観光の際にボランティアで同行した。

②「つながろう！放射能から避難したママネット」支援活動

今年度より福島県内から自主避難したお母さんと子どもたちのグループ「つながろう！放射能から避難したママネット」の支援活動を開始。学生ボランティアたちが井の頭動物園(4月)、高尾山(5月)、戸山公園(6月)、昭和記念公園(7月)にて、子どもたちと遊ぶ活動や奉仕園内での学習支援を実施した。

③第3回シクラメンプロジェクト

震災発生直後より支援活動を展開してきた岩手県上閉伊郡大槌町を早稲田学生寮チームと恵泉女学園大学の学生たちが訪問、シクラメン 300 鉢を地域住宅および仮設住宅に届け、被災者の方々との交流を楽しんだ。

期間：11月22日～11月24日の2泊3日

参加：早稲田学生寮チーム学生(友愛学舎、早稲田大学留学生他)16名

恵泉女学園大学学生11名、スタッフ7名 合計34名

協力：恵泉女学園大学キリスト教センター、浪板交流促進センター、早大怪獣同盟

④福島・宮城・岩手の三窯展

東北地方の陶芸文化を支えるため、友愛学舎の西山彩音さん(東京芸大)と早大陶芸部の大島由雅さんの企画運営による「福島・宮城・岩手の三窯展—東北陶芸文化のこれからをおもう—」を7月12日から17日にスコットホールギャラリーにて開催、約80点の作品を展示・販売した。10月3日放送、NHK「東北発☆未来塾」にて三窯展の様子が取り上げられた。

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語学講座

アジア諸地域の言語を学ぶことを通じ、文化や習慣、社会への理解を深めることを目的に開設。2013年度は40周年を迎え、様々な記念イベントを実施した。

①通常クラス

前期：受講者数合計 108 名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計
韓国語		初級 5		上級会話 5	10
タイ語	入門 6				6
ベトナム語			中級 6		6
ベンガル語	入門 13	初級 1 3 初級 3 9	中級 2 4 中級会話 6	上級 8	43
ヒンディー語	入門 10	初級 1 5 初級 2 5	中級 3		23
モンゴル語			基礎復習 3 中級 5		8
ミャンマー語	入門 9	初級 1 3			12

後期：受講者数合計 90 名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計
韓国語			中級 4	上級会話 4	8
ベトナム語			中級 5		5
ベンガル語	入門 5	初級 1 4	中級 1 8 中級 2 4 中級会話 7	上級 9	37
ヒンディー語	入門 10	初級 1 7	中級 6		23
モンゴル語			基礎復習 3 中級 3		6
ミャンマー語	入門 4	初級 1 7			11

②夏の2日間集中講座

7月の連休を利用した初心者向けの集中講座を開講(5時間×2日間)、アジア語学講座開設 40

周年の今年は、夏の10ヶ国語2日間集中講座として設定し、受講者数合計43名であった。

(1)開講日：2013年7月13日(土)、14日(日)

受講者数：ミャンマー語8名、ベトナム語5名、マレーシア語4名、クメール語4名

(2)開講日：2013年7月20日(土)、21日(日)

受講者数：ベンガル語7名、ヒンディー語11名、ラオス語4名、

③日→韓訳出にもチャレンジ！はじめての韓国語通訳2日間レッスン

韓国語ネイティブのプロ通訳者による韓国語への訳出に重きをおいた集中講座(5時間×2日間)を開講。

開講日：2013年7月13日、14日

④秋の2日間集中講座

11月の連休を利用した初心者向けの集中講座を開講(5時間×2日間)、アジア語学講座開設40周年記念プログラムの一環として設定。

開講日：2013年11月23日、24日

受講者数：タイ語5名

⑤春の2日間集中講座

3月の連休を利用した初心者向けの集中講座を開講(5時間×2日間)

開講日：2014年3月21日、22日

受講者数：ヒンディー語9名

⑥実践力をつけよう！はじめての韓国語通訳2日間レッスン

プロ通訳者による通訳メソッドを用いた上級者対象の集中講座を開講(5時間×2日間)。

開講日：2014年3月21日、22日

受講者数：4名

講師：矢野百合子(国際会議通訳者)

■アジア語学講座 開設40周年記念プログラム

①徐京植講演会「アジアと向き合うことの意味～ディアスポラ(離散者)の視点から」

人とモノが往来する時代の只中であって、日本とアジアの関係は何が変わり、何が変わって

いないのか—在日朝鮮人として日本に生まれ育ち、ディアスポラ＝離散者としての視点から
文筆活動を続けている徐京植さんによる講演。

日時：4月20日

講師：徐京植(作家、東京経済大学現代法学部教授) 進行：宣元錫

参加人数：29名

②「きっと、うまくいく」特別試写会 150名様無料ご招待

インドの教育問題に一石を投じる作品。インド映画歴代興行収入No.1の話題作。

配給：日活株式会社

日時：4月26日

当日来場者：140名

③堀田あきお&かよ原画展「アジアのディープでハッピーな歩き方」

『アジアのディープな歩き方』(旅行人)や『聖なるインド、はるかなネパール』(旅行人)の
原画約40点を展示。

日時：6月21日～26日

④堀田あきお&かよ×蔵前仁一トークショー「旅をせずにはいられない、アジアの魅力」

「旅行人」元編集長の蔵前仁一さんをゲストとして迎え、堀田あきおさん、かよさんと共に
旅のエピソードを語るトークショー。

日時：2013年6月22日

参加人数：95名

⑤連続講座「今もっと知りたいミャンマーのこと」

民主化への取り組みや盛んな企業進出など、今最も注目を集めている国ミャンマーを多面的
に解きほぐす連続講座(全4回)。

第1回(6月6日)：「ミャンマーってどんな国、近現代の歩み」

講師：根本敬(上智大学教授) 参加人数：37名

第2回(6月20日)：「多民族、多文化の国、ミャンマー」

講師：イン イン メイ(東京外国語大学非常勤講師) 参加人数：38名

第3回(7月4日):「日本に暮らすミャンマーの人々」

講師:田辺寿夫(フリージャーナリスト) 参加人数:34名

第4回(7月18日):「ミャンマー、民主化の行方」

講師:根本敬(上智大学教授) 参加人数:32名

⑥公文健太郎写真展「FootKat 一路上の洗濯屋」

2012年に日本写真協会新人賞を受賞した写真家公文健太郎さんがセネガルを舞台に撮った新作を展示。

日時:9月13日~25日

⑦公文健太郎×伊勢功治トークショー

写真家公文健太郎さんとデザイナー伊勢功治さんによるトークショー。公文さんとアジアとの出会いを振り返る。

日時:9月13日

参加人数:約40名

⑧松岡環さんと語ろう「もっともっと好きになるインド映画の魅力」

今後の盛り上がりを楽しみなインド映画の魅力について、日本を代表するインド映画研究者の松岡環さんが語る講演会。

日時:9月21日

参加人数:40名

⑨アジアWEB写真公募展「アジア・人と生活 ASIAN LIFE」

とっておきのアジア写真を展示するWEBベースの写真公募展。

応募期間:2014年1月6日~2月10日

展示期間:2014年2月14日~28日

後援:(特活)シャプラニール=市民による海外協力の会、株式会社アンダンテ

審査員:北田英治(写真家)、公文健太郎(写真家)

応募作品数:155点

■英語講座

ネイティブ講師と英語でコミュニケーションをとることを中心に、楽しみながら英語を身につける「ムリなく学べる基礎英語」、時事的トピックスを英語で話し合い理解を深めると共に英語のブラッシュアップをする「What 's Happening in the World?」クラスを開講。

受講人数 前期：32名、 後期：30名

開講クラスおよび受講者数：

クラス	前期	後期
ムリなく学べる基礎英語(火)	8	8
ムリなく学べる基礎英語(金)	9	10
Lecture&Discussion	15	12
合計	32	30

その他活動：「What 's Happening in the World?」は、最後のクラスでティーブレイクの時間を設け、クラス内の交流を図った。「ムリなく学べる基礎英語」では、講師による英語圏の食文化の紹介なども行われた。

■日本語ボランティア養成講座

地域に住む外国人などにボランティアで日本語を教えるための学習法を学ぶ。受講対象はおもに中高年の、比較的時間に余裕があり社会貢献をしたいと思っている方々を想定している。奉仕園の『日本語ボランティア養成講座』は1年間通して学べる講座として、4月に初級Ⅰ(全16回・1回2時間)、10月に初級Ⅱ(全10回・1回2時間)、中上級(全6回・1回2.5時間)を開講した。講師には日本語ボランティア歴25年、現在武蔵大学講師を勤める数土容子氏にご担当いただいている。各講座修了生には修了証書を発行、修了生の多くが日本語ボランティアの活動を始めている。

講師：数土容子(武蔵大学講師)

開講日と受講者数：

クラス	開講日	受講人数
初級Ⅰ	4月17日～9月4日 全16回	25
初級Ⅱ	10月9日～12月11日 全10回	21
中上級	2014年1月29日～3月5日 全6回	17

■「スコットホールでゴスペルを歌おう」講座

スコットホールの空き時間を利用してゴスペル講座を開講している。奉仕園に集い、仲間が
でき、歌う楽しさを味わうことで元気になっていくことを目指している。4月18日にはOpen
Voice Day(無料体験レッスン)を開催、37名の参加があった。毎年12月にはクリスマス発表
会もあり、目標に向かって講師オリジナルアレンジの曲を習得していった。また、クリスマ
スツリー点灯式や日本語ボランティアの会新年会でも発表をした。

開講日と受講者数：

クラス	開講日	受講人数
シーズン①	4月25日から6月20日(全7回)	12名
シーズン②	7月11日から9月19日(全7回)	12名
シーズン③	10月17日から12月12日(全7回)	11名
シーズン④	2014年1月16日から3月13日(全7回)	11名

講師：藤田聖子(プロシンガー)

■水彩画レッスン

教養講座のプログラムとして、前期6回、後期5回で開講。静物画や野外スケッチ、作品講
評を中心に、初心者向けに実技を丁寧に指導する。講座終了後は収蔵展の特別展示とし、受
講生の作品をスコットホールギャラリーにて展示。

受講人数：前期11名、後期8名

講師：鈴木喜一(武蔵野美術大学講師)、森本太郎(美術作家)、

渡邊義孝(尾道市立大学非常勤講師)

■聖書講座<日本クリスチャンアカデミー関東活動センターとの共催>

①入門編「はじまりの聖書～旧約聖書の人間像～」

青山学院女子短期大学宗教主任の吉岡康子牧師を講師に、5回シリーズの聖書入門講座として
開講、各回約10名が受講した。

②上級編「聖書によれば同性愛は罪？～わたしらしい性と生のために」

山口里子氏(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)を講師に、4月より8回
のシリーズで開講、各回約15名が受講した。

(4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

大学学部生寮 (1号館2階及び3階)

舎生数：4年生3名 (男子2名・女子1名)、3年生3名 (男子2名・女子1名)、2年生3名 (男子3名)、新1年生4名 (男子1名・女子3名) の計13名。

活動：

朝の会 学期期間中の月曜日～金曜日の7時～7時30分、聖書講読(創世記)及び学生発表等を行った。

舎生会 毎月1回開催。

年間活動 昨年より実施した新入生対象のオリエンテーションを実施。奉仕園・友愛学舎の歴史などを在寮生とともに学ぶ機会を持つようにした。

海外研修やボランティアの機会を提供し参加できるような環境を整え、沖縄研修旅行や東日本大震災被災者支援ボランティア等にも積極的な参加が見られた。

■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による学生寮のネットワーク構築を目的に、2012年に発足。

キリスト教学生寮懇談会は5月に東京YMCA山手学舎、10月に早稲田大学YMCA信愛学舎にて定例会をもち、寮の見学や運営上の情報交換をおこなった。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者寮 (1号館2階)。年2回ほど寮生同士の懇親会を行い 奉仕園のプログラムなどへの積極的な参加を呼び掛けた。

寮生：のべ7名が在寮

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

■国際学舎

早稲田大学外国人留学生・研究者寮 152 室。

入寮オリエンテーション：9 月 17 日、10 月 1 日に実施

レジデントアシスタント(RA)：RA ルームに平日の 19 時～21 時まで常駐

寮生：2013 年度国・地域別居住者数(合計 227 名、36 の国と地域)

短期プログラム：①笹川日中友好基金助成 中国地方大学日本語学習者訪日研修

8 月 1 日～24 日 引率者 3 名、学生 20 名、計 23 名

②ミズーリ大学 7 月 20 日～8 月 17 日 7 名

■留学生健康相談室の運営

医師・保健師による健康カウンセリングをおこなう。

開室時間：毎週月曜日 13 時～15 時 30 分、毎週水曜日及び木曜日 13 時 30 分 17 時 30 分

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症(インフルエンザ等)についての情報提供、健康状態の把握など。

■Friday・Night

奉仕園居住の学生、講座受講生などの交流と親睦の会、年 2 回開催。

4 月 19 日 Welcome Party 67 名

9 月 27 日 Japanese Night by 友愛学舎 87 名

■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、他の早大交換留学生寮の学生の参加も見られた。12 月 14 日に開催。交流パーティー、グループや個人によるアトラクションなど普段では見られない学生の一面を見ることができ良い交わりとなった。

■第 10 回早稲田大学留学生長野県大岡研修旅行

長野市大岡を訪問し、中学校での交流会、田植え、陶芸、農家でのホームステイなどを通じて日本の農村生活を体験した。

参加人数：早大在籍の外国人留学生・研究者 20 名、スタッフ 2 名、RA1 名 合計 23 名

期間：5 月 24 日～26 日の 2 泊 3 日

協力：早稲田大学留学センター、公益財団法人育てる会大岡ひじり学園、長野市教育委員会

■第 4 回富士山登頂旅行

東日本大震災支援活動と合同で実施。雨模様の天候であったが全員無事登頂を果たすことができた。

期間：7 月 26 日～30 日

人数：留学生及びボランティア学生 6 名、被災者の子ども及び親御さん 13 名

協力：早稲田大学 ICC、YMCA 同盟東山荘

■第 8 回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

早稲田大学留学生が静岡県御殿場市を訪問し、富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、環境への理解を深める。友愛学舎・信愛学舎の日本人学生を中心として留学生との合同で実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場となるようにする。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者 21 名、RA1 名、スタッフ 2 名

期間：2 月 6 日～8 日の 2 泊 3 日

協力：早稲田大学 ICC、YMCA 東山荘

内容：富士山麓の散策、富士山周辺の自然学習、郷土料理実習、箱根観光等

■ホームビジット

ホームビジットプログラムは、早稲田奉仕園寮に居住している留学生に東京近郊の一般的な日本人家庭を訪問し、その生活を知ってもらうことにより、学業のみならず「普段着」の日本を知ってもらう機会としている。又、ホストファミリーの方々には留学生との交流を通して異文化・異世代体験をしていただいている。留学生を受け入れていただいているホストファミリーは、奉仕園OBOG、早稲田教会、東京平和教会、奉仕園日本語ボランティアの会、稲門会等の方々にご協力をお願いし、現在 14 組のホストファミリーに登録をいただいている。

①2013 年 6 月 3 日(月)～7 月 7 日(日)留学生 6 名が 3 家庭を訪問

②2013 年 10 月 15 日(火)～12 月 8 日(日)留学生 17 名が 6 家庭を訪問

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■賃貸事業

月極め駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。

■施設管理の受託

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業(セミナーハウス)

■施設の貸与(会議室・ホール・ギャラリー)

引き続き撮影が好調で予算を大幅に超えた。昨年同様卒業式着付け企業の2社が使用した。パーティーは各自が飲食を手配するケースが増えているため、今年度より持ち込み料を設定した。ギャラリーは展示使用のほかにオープンスペースとしても貸し出しを開始し、コンサートや演劇、説明会、懇話会、パーティーなどの利用があった。

■早稲田スコットホールギャラリー

①ギャラリー企画展及び関連イベント

4月12日～24日 鈴木喜一写真展 「アジア漂流」

5月17日～29日 北田英治写真展 「東京エッジ」

7月12日～17日 被災地復興・文化支援企画 「福島・宮城・岩手の三窯展」

11月30日～12月8日 第2回東京の近代建築スケッチ公募展 出品数44点

1月17日～19日 ヴォーリズ建築写真展

②「第2回東京の近代建築スケッチ公募展」

ギャラリー主催として第2回目となる公募展を開催、44点が出品され、次の賞が決定した。

第2回東京の近代建築スケッチ公募展大賞：松原英夫 「迎賓館赤坂離宮主庭」

みんなが選ぶ第2回東京の近代建築スケッチ公募展賞：藤原成暁 「秋景—晩香廬」

レンガ作品に贈る スコットホールギャラリー賞：弘中栄美 「東京駅」

東京の街並み賞：牛山哲子 「町の文房具屋さん」

奨励賞：青沼光一 「ドームの印象」

水彩画レッスン奨励賞：入口可奈子 「食堂」

鈴木喜一賞：坂西悦子 「山本有三記念館」

■プログラム（協賛を含む）の開催

- ・東京都教育委員会主催「東京文化財ウィーク」に参加し、11月5日に歴史的建造物スコットホール公開事業を開催した。ガイドツアーには30名参加、計50名がスコットホールを見学した。

- ・チャリティー古本市を以下のとおり開催した。

第12回：5月15日～6月30日 売上金 74,100円

寄付先：NPO法人沖縄・球美の里「福島の子ども保養プロジェクト in 久米島」

第13回：10月15日～11月30日 売上金 58,286円

寄付先：(認定)特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会

- ・セミナーハウスを利用する団体のうち趣旨に賛同する活動に対し、チケットの購入や使用料の一部を援助する協賛活動を行った。
- ・東京都都市整備局の呼びかけにより歴史的建造物保存を目的とした「東京歴史まちづくりファンド」のためのチャリティーコンサートを以下のとおり開催した。

開催日：1月19日、参加者：約120名

主催：(公財)東京都防災建築まちづくりセンター、共催：東京都、後援：新宿区

協賛：早稲田奉仕園、(株)一粒社ヴォーリズ建築事務所、(株)佐藤秀

フルート：浮ヶ谷順子、オルガン：湯口依子

3. 法人事務

■財団広報

『奉仕園通信』は67号(2013年9月30日)、68号(2014年3月31日)を発行した。財団ホームページは定期的な更新作業のほか、アジア語学講座ページのリニューアルを行った。「早稲田奉仕園スタッフのブログ」は2013年度を通じて67記事を掲載した。

■奉仕園ホームカミングデー

第5回となるホームカミングデーを7月14日に実施し40名が参加。記念礼拝、友愛OB黒木章さん(聖学院大学教授)による講演、学生活動の報告などをおこなった。

■財団会議

①理事会

第1回定時理事会(6月4日)

第1回臨時理事会(7月1日)

第2回臨時理事会(11月12日)

第2回定時理事会(3月10日)

②評議員会

定時評議員会(6月13日)

第1回臨時評議員会(11月28日)

第2回臨時評議員会(3月20日)

③常任理事会

第1回常任理事会(5月22日)

第2回常任理事会(8月7日)

第3回常任理事会(10月11日)

第4回常任理事会(2月21日)

■監査

監事監査 5月17日、5月30日、11月15日

監査法人監査 4月2日、5月16～17日、11月15日

■理事・評議員人事

①理事

定時評議員会(6月13日)にて任期満了に伴う改選を実施、第1回臨時理事会(7月1日)にて理事長、専務理事及び常任理事を選任。

就任：奥島孝康(理事長：重任)、吉田博(専務理事：重任)、大山和定(常任理事：重任)、古賀博(常任理事：重任)、大橋正明(常任理事：新任)、稲垣隆一(重任)、内田勝一(重任)、丹野真人(重任)、鎌田薫(新任：早稲田大学総長)、相賀昇(新任：日本基督教団牧師)

退任：安積義晴、野木虔一

②評議員

就任：横山勝常(新任：早稲田大学総務部長、6月13日付)

佐々木裕康(新任：早稲田大学学生部事務部長、3月20日付)

退任：守田芳秋(6月13日付)、伊藤幸史(1月31日付)、南川良典(3月20日付)

■登記

6月26日付 理事の重任、就任及び退任、評議員の辞任及び就任

7月12日付 代表理事の退任及び就任

2月3日付 評議員の辞任

3月27日付 根抵当権極度額変更、根抵当権設定及び抵当権解除

■行政庁(内閣府)諸届

4月22日付 評議員辞任登記完了届け提出

6月26日付 2013年度事業報告等提出

7月9日付 理事の就任、退任及び評議員辞任、就任登記完了届け提出

2月17日 評議員辞任登記完了届け提出

3月31日付 2014年度事業計画書等提出

■賛助会員

2013年度は個人152名、法人2団体より加入をいただくことができた。

■キリスト教施設長会

キリスト教施設長会議が、2014年1月29日から31日まで沖縄キリスト教センターにて開催された。

■インターンの採用

前期は東日本大震災被災者支援活動、国際交流活動及びアジア語学講座に各1名ずつ、後期は国際交流活動及び東日本大震災被災者支援活動に各1名の計5名のインターン学生が実習を行った。